



# 善勝寺だより

ZENSHOJI DAYORI

善勝寺だより第132号  
令和7年9月10日発行  
〒365-0013 埼玉県  
鴻巣市境147 善勝寺  
TEL 048-569-0810  
発行責任者 明見弘道

## 一葉落らて

### 天下の秋を知る

猛暑続きの夏でしたが、檀信徒の皆様におかれましては、如何お過ごしでしょうか。

九月になってもなかなか秋の気配が感じられません。でも暑さ寒さも彼岸までと申します、もう少しの辛抱でしょうか。

さて、先月の施餓鬼会には多数ご参拝下さり誠にありがとうございました。今年も暑かったのですが無事終えることができました。

前日の準備から当日の後片付けまで、役員・青年部の皆さんご苦労様でした。

おかげをもちまして大過なく終了することができました、お礼申し上げます。

施餓鬼法要の際、初盆をお迎へのご家族にお配り致しました袋の中に「イス坐禅」の本がありました。興味持っていた方から「ユーチューブ見ました」「好いご本戴き有り難うございました」などの声を頂きました。まだお読みでない方、仏壇にお供えしておかないで是非

手に取ってお読み下さい。

もう一つ施餓鬼会関連ですが、「護持費はコンビニ振替なのに施餓鬼の塔婆代はどうしてコンビニではだめなの」との意見がありました。

コンビニで払い込みをするにはあらかじめ金額が表示されたバーコードが必要となります。護持費は金額が確定されますが、

施餓鬼の塔婆は家々によって本数が異なりますので金額を指定することができないからです。

ご近所の方で郵便局に行くのが困難な方は、お寺でも受け付けています。塔婆申し込みのハガキと共に振替用紙にお名前と金額を書いて、お釣りのないようにお持ち下さい。

彼岸花も今年は猛暑のせいか遅いようです。でも日陰になつていようなどころから少しずつ咲いてきました。

私たちも暑い暑いと言つてばかりおれません。時は進みます、なすべきことをコツコツと進めて行きましょう。



## 「ご案内」

### 秋季彼岸会

左記の如く、彼岸法要を厳修致します。

檀信徒の皆様におかれましては、多数ご参拝下さいますよう謹んでご案内申し上げます。

#### 記

九月二十三日（火曜日）

午後二時より

### 彼岸法要

法要終了後、住職の話  
三時終了予定。

\*彼岸法要には受付もなく参列に人数制限はありません。また、施餓鬼会のようにあらかじめの申し込みも不要です。

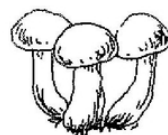
彼岸供養料、並びに塔婆料

（一基六千円供養料含む）は、

施主名をご記入のうえ、本堂内の前机にお供え下さい。

また、彼岸の塔婆を建てられる方は、前もって電話やFAXまたはメールでお申し込み下さい。

なお、そのさい施主名のほか、戒名、お参り予定日もご記入願います。



前回取り上げました「絶望名言」、これも反響がありました。「本を買って毎日読んでます」という方もありました。前は「カフカ」でしたが、今回はどなたもご存じの「ベートーベン」です

私にとって最も大切な聴覚が、どうにもダメになってきたんだ。

私はなんて悲しく生きなければならぬんだらう！

難聴になったことを隠していたのですが、二人の友人に打ち明けた手紙の一部です。

ベートーベンには若いときから、腹痛、下痢のほかにも目も良くなく天然痘や、肺の病気、リュウマチ、黄疸、結膜炎など色々な病気になって悩んでいました。二十五歳になる前に、「勇気を出そう。身体がどんなに弱くても、精神力で打ち勝とう。いよいよ二十五歳だ」と決意を手帳に書いています。

そういう決意の後で、難聴が始まってしまったんですから、あまりにも過酷です。

交響曲第五番の冒頭「ダダダダン」というフレーズ。「これはいったい何を表しているんですか？」と人から聞

かれて、「これは運命がドアを叩く音だ」というふうにはベートーベンが答えたので、「運命」というタイトルになったと言われています。

この曲を聴いたゲーテは（メンデルスゾーンがピアノで弾いて聴かせたこと）「家が壊れそうだ」と言ったとか。ドアを叩く運命の音は、そこま

で激しかったということでしょう。すべてを乗り越えようとはして見た。

しかし、どうやったら、そんなことができるんだ！（友人の牧師への手紙）

もうあきらめるしかないのかも、

でも「あきらめとは、なんて悲しい隠れ家だらう」といつています。

あきらめるということも美德の一つだとは思いますが。けれども、やっぱりそれは本当の気持ちじゃない。あきらめることで、心を落ち着かせる。自分を落ち着かせる。そういう隠れ家に過ぎないとベートーベンは感じていたわけです。

私たちはひたすら悩むために、そして歓喜するために生まれついているのです。最善なのは、苦悩を突き抜けて歓喜に至ることでしょう。

日本でも毎年年末に演奏されている交響曲第九（合唱付き）「歓喜の歌」は、ベートーベンが苦悩を乗り越え、今はいい状況にいて喜んでいてというわけ

ではないのです。暗い谷の底にいる人ほど上の明るさというものを求めるわけです。明るさに感激するし、明るさの値打ちというものを一番知っているのは、そういう暗い谷底にいる人間だと思えます。

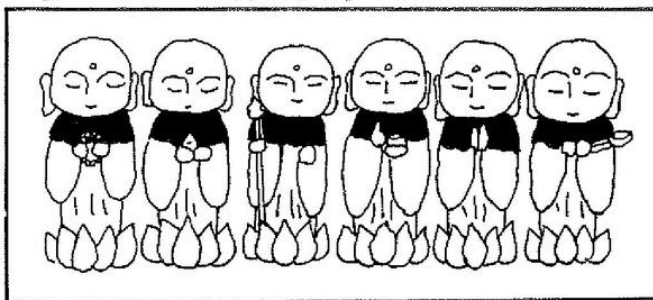
めでたしのお祝いの曲ではない。あくまで苦悩から見た歓喜の輝きの曲であると。だからこそ、苦悩している人の心に響くのです。

（頭木弘樹著NHKラジオ深夜便絶望名言より）

（続く）

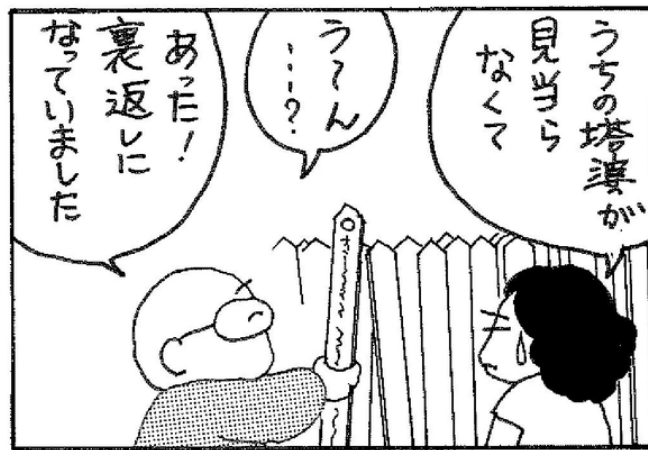
六地藏

墓地の入口によく見かけますね。(善勝寺にもある)



神聖なお墓に魔が侵入するのを防ぐためと  
言われています。

# ゼンツウカツノ日記



## 鎌倉円覚寺横田南嶺管長のお話

この数年間、お盆・彼岸・正月と年間行事の「施本」として『円覚』という冊子を用意しており、毎回「横田館長のお話」が載っています。

今年の秋彼岸号もとても興味深い内容でしたので一部紹介致します。

『禅の教えで伝えることはただひとつ、あなたの心が仏であるということです。そして更に臨済禅師は、お互いのこの生身の体に仏の心がありありと現れていて、ご飯を食べて排泄して、服を着て、夜眠るといふあらゆる日常の営みが仏法のすべてであると説かれました。』

私はそんな祖師の教えを繰り返してお話しさせてもらっているだけではありません。

そんな話を聞かれた方から手紙をいただいたことがあります。

その方はご主人を亡くされてから、目が見えず寝たきりの姑さんの食事やトイレの世話などの介護を毎日なさっているそうです。そんな暮らしです。思うように外出もできぬと察します。手紙には「時々帰ってくる義姉にいろんなことを言われては、悔しさや虚しさで耐え忍んでいる毎日です」とも書かれていました。そのような方がユーチューブで私の法話を聞いて下さ

ったのだそうです。

どんな人も仏の心をもっている、食べて出して寝ている、この活動が仏の営みだと話していますので、私の話を聞いて「姑を仏と思った」そうなのです。そうしましたら、「日々の世話が苦痛でなくなりました」と手紙に書かれていました。そして「気づきをあたえてくださり、本当にありがとうございます。」という感謝の言葉が綴られています。ありがたいことでもあります。』

抜粋して紹介しました。施本は玄関内にありますので、お参りの際ご自由にお持ち帰り下さい。

## 事務局からのお知らせ

施餓鬼会には多くの塔婆申し込みをいただき有り難うございました。

来年に向けてのお願いとなりますが、

施餓鬼会塔婆の申込ハガキは、申込者のお名前や戒名など楷書でゆっくり丁寧にお書きいただきたいと存じます。

塔婆は届いたハガキを見ながら書いておりますが、この字は何という字だろうかと筆が止まって名簿や過去帳を見るのが度々あります。

特に戒名の漢字は、徳が徳、浄が浄、静が静、随が随などなど、旧字体が多く使われています。お位牌をご覧頂き正確にお書き下さいませ。

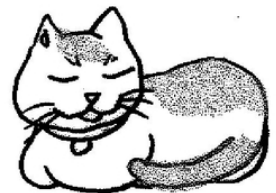
施主のお名前も達筆にお書きになる必要はありません、誰が見てもわかる楷書でお書き願います。

また、塔婆をお取りいただくときも、よく似た名前もありますので、よく確かめてお持ちいただきますようお願い致します。

今年のサマ、

豊漁で

大きさまあり  
おいしい!



善勝寺のホームページをご覧頂くときは左の『QRコード』を利用して下さい。

「善勝寺」というお寺は全国にたくさんあります。鴻巣市善勝寺で検索しても、他の業者の方が作った墓地などの案内サイトがいくつもあります。

善勝寺が作った「公式サイト」に当たらないことが多々あります。

そこで、この「善勝寺だより」なども掲載している「善勝寺ホームページ」をご覧頂くには左の「QRコード」が最適です。過去の「善勝寺だより」も見ることが出来ます。よろしかったらお気に入り追加していただき、時々ご覧いただけたらありがたいです。



## 編集後記

「善勝寺だより」百三十二号をお届け致します。

お盆に引き続きとなりますが、彼岸法要にもご参拝頂きますようお願い申し上げます。

彼岸には、墓参用生花の販売は致しておりません。当寺での販売は八月十三日のみです、ご了承願います。隣のコンビニ「ローソン」では常時切り花の販売をしています。

ご利用下さい。

次号は、年末号として十二月二十日頃発送する予定です。それには令和八年度護持費のお願いと、コンビニ専用の振替用紙を同封致します。お早めに納入して頂きますようお願い致します。

次号が年内に届かなかったとき、あるいは振り込み用紙が2枚重なって他の方のものと一緒に入っていた時には、お手数ではありますが、寺までご連絡下さいますようお願い致します。

残暑厳しい時節柄、皆様それぞれにご自愛下さいますようお願い申し上げます。

(弘道)